

とき 平成25年 8月2日(金) 午後7時~

ところ 由岐公民館2階 大会議室

講師 神奈川大学 経済学部 佐藤 孝治 教授

演題 東日本大震災の社会経済的な影響

—南海トラフ巨大地震に備えて三陸沿岸の経験から学ぶこと—

入場無料



解体前の陸前高田市役所



宮古市のカレキ



陸前高田市の仮設住宅

佐藤孝治先生は、経済学の立場から阪神淡路大震災(1995年)で災害時の通勤困難者問題を調査するなど、長年「地震防災」を専門テーマの一つに掲げて研究を続けてこられました。

東日本大震災後は、地域社会に及ぼす震災の影響（産業経済活動や市民生活への影響など）を継続的に調査するため、学生達と東北の三陸沿岸部に16回入り、震災直後からの被災地の変化を追いかけています。

今回のご講演では東日本大震災の現状と課題について、社会経済学的な見識からご説明頂き、今後の南海トラフ巨大地震対策の一助とします。

防災まちづくり講演会

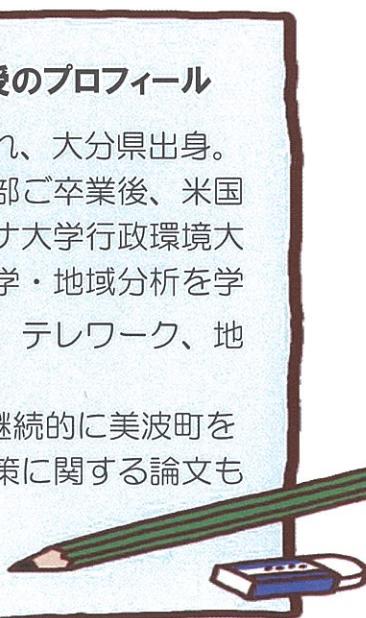


佐藤孝治教授のプロフィール

1949年生まれ、大分県出身。中央大学法学部ご卒業後、米国のインディアナ大学行政環境大学院で政策科学・地域分析を学

ばれました。ご専門は地域経済論、テレワーク、地震防災・危機管理など。

また佐藤氏は、平成19年度から継続的に美波町を来訪されており、美波町の防災対策に関する論文もご執筆されています。



主催 德島大学・美波町地域づくりセンター

後援 美波町役場、美波町自主防災会連合会